厚木ロータリークラブ週報

JAPAN　第2780地区

Atsugi Rotary Club Weekly

会長	森住　等美
副会長	和田勝幸
幹事	栗原良雄
副幹事	畑中雄太
会報・IT	建部卓也

奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

2021～2022　国際ロータリー会長　シャカール・メータ

例会場　厚木商工会議所5F　大会議室
例会日　毎週火曜日　12：30～
事務所　厚木市栄町1丁目16番15号　厚木商工会議所内

http://www.atsugi-rotary.jp　メールアドレス info@atsugi-rotary.jp　TEL.046-222-5811　FAX.046-222-5821

第2963回例会（2月1日）☆司会　中和信治 副SAA

点鐘　…森住　等会長

斉唱　…君が代・厚木RCの歌

ゲスト紹介

郝　紅竹さん（米山奨学生）

会長報告

◎ガバナー事務所　より
・第2ゾーンRI理事指名委員会　地区代表委員について

◎座間RC　より
・ロータリー奉仕デー YouTube配信について

◎クマヒラ　より
・抜萃のつゞり　その八十一

幹事報告

◎例会変更
・厚木中RC
2月　2日（水）→休会（コロナまん延防止措置を受け）
2月　9日（水）→休会（定款第8条第1節により）
2月16日（水）→Zoom例会へ変更
2月23日（水）→20日（日）ロータリー奉仕デーに振替
・大和田園RC
2月　4日（金）→取り止め例会
（定款第7条第1節（d）項（3）より）
2月11日（金）→取り止め例会
（定款第7条第1節（d）項（3）より）
2月18日（金）→取り止め例会
（定款第7条第1節（d）項（3）より）
2月25日（金）→Zoom例会

委員会報告

◎雑誌広報年史委員会　会田義明委員長
ロータリーの友2月号紹介

◎クラブ管理運営委員会　小林　透総括委員長
収支報告（前年度＆60周年）

スマイル

森住　等会長・栗原良幸幹事

コロナ禍で暗い話題が多いですが、今週の4日から北京オリンピックが開催されます。日本人選手の明るい活躍に期待いたします。本日の卓話、前田委員長宜しくお願い致します。

前田賢一君

妻の誕生祝いありがとうございます。週報を見て「あっ」と気づきました。今日の卓話の国際奉仕について、初めて勉強させて頂きました。

黒柳告芳君

誕生日のお祝いありがとうございます。

市川信也君

誕生日のお祝い有難うございます。

今日のお祝い　「おめでとうございます。心よりお慶び申し上げます。」

＊会員誕生日
三橋一皓君（10日）

＊結婚記念日
財津高広君（11日）
森住　等君（11日）
黒柳告芳君（13日）

今日の例会（2022年2月8日）

「AI,IoTで実現する先進的サービス」
担当：深澤明央君

次回の例会（2022年2月15日）

「フィリピン セブ島 スーパー台風（オデット22号）現地被害状況」
担当：金井良雄君

奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

建部卓也君

結婚記念日のお祝をありがとうございます。20周年になります。どうしましょう？(笑)

犬塚祥子君

本日よりスマイル発表は委員メンバーで順番に読み上げることとなりました。今までみなさまのスマイル発表楽しかったです。ありがとうございました。

今日のお花

キンカン(森住　等会長)
乙女桜(栗原良幸幹事)
藪椿(滝澤　勇君)
沈丁花(建部卓也君)

例会「国際奉仕とは」

担当：国際奉仕委員長 前田賢一君

1.国際奉仕とは

●1922年、「国際奉仕の概念」が、綱領へ正式に明文化され、現在に至る。

●「奉仕の理想に結ばれた、事業と専門職務に携わる人および地域社会のリーダーの世界的親交によって、国際間の理解と親善と平和を推進する」と定まる。

●第二次世界大戦(1939-1945)を経て、1945年には米国合衆国国務省から要請を受けて、ロータリアン49名が国連憲章の原案作成作業に参加した。

⇨ロータリーの歴史の中でも特筆すべき国際奉仕活動といわれている。

●1917年「アーチ・クランフ基金」承認。1928年「ロータリー財団」名称変更

「ロータリーが基金をつくり、全世界的な規模で、慈善、教育、その他、社会奉仕の分野で、何かよいことをしようではないか」(アーチ・クランフ)

2.世界的有事の際のロータリーの責務

●「ロータリーは中立を守る立場にあり、当該国のロータリークラブとロータリアンは、それぞれ国法を遵守しなければならず、これらの国々の間では友情や親睦を築く事は困難になります。」⇒有事の際には限界もある。

●ロータリアンの責務。(９項目あり)

3.国際奉仕の4つの分野

I.世界社会奉仕活動

1)世界社会奉仕活動とは　＜WCS：World Community Service＞

①発展途上国や開発途上国で国や行政が地域社会のニーズを満たせず、

②その国のロータリークラブも資金の制約等で奉仕活動ができない場合、

③援助を海外の地区やクラブに求め、協力して奉仕活動を行う。

2)世界社会奉仕活動の要件

①プロジェクトが人道的奉仕活動であること。

②2カ国以上のロータリアンが関与すること。

③プロジェクトはこのうちいずれか1カ国で実施されること。

3)世界社会奉仕活動の恩恵

①活動の恩恵は、援助される側の人々だけではない。

②私達の活動によって助けられた人々と喜びを目の当たりにする時、奉仕を実践したロータリアンも大きな恩恵を受けることが出来る。

③さらに国際理解や親睦を一層深めていく事ができるのです。
④奉仕の相手だけではなく、奉仕をした自分も満たされるのが、真の奉仕です。

4）ロータリーを通じてのプロジェクトの「資金調達」
①ロータリアン個人やクラブが提供しなければなりません。
②クラブ以外で利用できる資金
▷ロータリー財団から国際財団活動資金（WF）
▷地区財団活動資金（DDF）と地区補助金（DSG）

II.国際レベルの教育及び文化活動

1）ロータリー友情交換
●ロータリアンや家族のための国際交換プログラム

2）世界ネットワーク活動グループ
●ロータリー親睦やロータリアン行動グループ

III.特別月間と催し
●毎年2月は「世界理解月間」。クラブは世界平和に不可欠な理解と親善を強調したプログラムと活動を実施するよう要請されています。

IV.国際的な会合
●ロータリアンは国際的な会合に積極的に参加し、国際レベルで友情や親睦を深めることが推奨されています。

V.海外姉妹クラブとの国際交流
●長期的な友好関係を築く。
●その主な目的は、国際親善と親睦活動の推進。
●両国のクラブは共同で相手国あるいは第3国で世界社会奉仕活動WCSプロジェクトに取組む機会も生まれてきます。

4.我がクラブの国際奉仕活動

●創立50周年記念事業〈2011年〉
『タイ北部のナコーンパノムへ消防車の寄贈』
●創立60周年記念事業〈2021年〉コロナの影響で実施できず。
●創立70周年記念事業〈2031年〉

第26代大統領ルーズベルトからロータリー国際交流への賛辞

＜1917年、アーチ・フランクRI会長（1916-1917）へ贈ったメッセージ＞

政治上の堅い約束や同盟よりも、ロータリーのような団体が持っている理念の方を信じる。国と国との利害があい反し、意見が食い違った時には、いかなる同盟や条約があっても、友好的な関係を保つことはできない。お互いの国民が理解と共感を持ってさえいれば、両国政府間の同盟など不必要である。ロータリーを組織するような人々の交流は、確実に相互理解を深めるに違いない。

「入りて学び、出でて奉仕せよ」

出席報告　＜会員 41 名、出席対象 38 名＞

1 月 18 日例会　　確定出席率 81.08％	2 月 1 日例会　　出席 26 名　欠席 13 名　出席率 68.42％
＜事後メイク＞ 黄金井陽介君（1月28日／厚木県央RC）	＜事前メイク＞ 常磐重雄君（地区） ＜欠席＞ 石村哲也君・金井良雄君・髙橋伸一郎君・髙橋　宏君 難波有三君・早嵜慶一郎君・福原譲二君・米山尚登君 財津高広君・今井銀河君・太田　豊君・藤原純一君